

2011年12月22日

北海道知事
高橋はるみ様

当別ダム建設事業および試験湛水の凍結を求める要望書

要旨

1. 当別ダム建設事業は、政府・関連学会の今後の検討に基づき、当別ダム周辺に存在する活断層に関する地震の影響について、再調査を行い検証してください。さらに、再調査が終了し検証結果が出るまでは建設工事を凍結してください。
2. 当別ダム貯水池に、2012年3月に予定されている試験湛水を実施しないでください。

私たちは、当別ダムについて、治水・利水の両面からも緊急性がなく必要性に疑問があること、さらにダム近傍に当別断層が存在し地震が発生した場合、ダムへ多大な影響を及ぼすことから一時凍結を求めてきました。

3月11日に発生した東日本大震災から9カ月が経過した現在、未だに復旧・復興のめどが立たず、わが国の災害史上最大の規模となっています。この地震の影響で、福島県須賀川市では藤沼ダムが決壊し、泥流が家屋や田畑を襲い8人の死者・行方不明者を出しました。他方、2008年6月に発生した岩手・宮城内陸地震(M7.2)では、死者・行方不明者23人の人的被害と全壊・半壊88棟の建物被害等が生じ、荒砥沢ダム上流部においては大規模地すべりが発生し、大量の土砂がダム貯水池へ流入したため、約3メートルの津波が発生しダムに被害をもたらしました。このような災害を二度と繰り返さないためにも、緊急性のない当別ダム建設事業は、一時凍結し抜本的に見直すべきです。

当別断層は、当別断層aと当別断層bを合わせて総延長約20キロメートルあります。そのうち当別断層bは当別ダム堤体の東約2.2キロメートルの距離に存在し、ダム湖東岸の一部を通過しています。したがって、当別ダム周辺で地震が発生した場合、地すべりや斜面の崩壊などにより大量の土砂がダム貯水池へ流れ込み、ダムが決壊して下流域が土石流や洪水などの大災害に見舞われる危険性が高いと危惧されます。さらに、当別ダムは、その形式がこれまで造成実績のない台形CSGダムであるため、コンクリートダムよりも強度、耐用年数および大規模地震に対する安全性などが劣ると指摘されていますので、大災害の危険が増大します。

私たちが、当別断層に起因する地震のダムへの影響を質したのに対して、道は国の指針「ダム建設における第四紀断層の調査と対応に関する指針(案)」を安全性の根拠とし、ダムサイトから300メートル以内に要注意断層が存在しないことを確認できれば良いとして安全対策は講じていません。

しかしながら、政府の地震調査委員会は、6月9日に、今後は「過去の地震の規模や活動について高精度に評価をするため、津波堆積物調査、海域における活断層調査などの成果をより積極的に活用し、将来おきる地震を予測する」と述べて、発生例がなくても地震を想定する地震予測手法の見直しを明らかにしました。静岡で10月に開催された公益社団法人日本地震学会の2011年度秋季大会では、最終日には巨大地震が想定できなかった反省を踏まえた特例のシンポジウムが行われました。新聞報道によると、「巨大地震(M9.0)は、直前予知はもちろん長期予測でもまったく想定されていなかった」「地震学の敗北だ」「責任を感じる」と、研究者から自戒と反省の言葉が相次いだということでした。今や、海溝型地震はもちろん内陸型(活断層)地震について、政府や学会あげて、地震の新たな予測手法が検討される状況にあります。

したがって、道としては、これらの見直しに沿って、当別ダム周辺に存在する活断層に関する地震の影響について再調査を行い、検証するよう要望いたします。さらに、再調査が終了し、検証結果が出るまでは建設工事を凍結するよう要望いたします。また、2012年3月に予定されている試験湛水を実施しないよう強く要望いたします。

なお、お忙しいところ大変恐縮ですが、12月末日までに、当別ダム周辺の環境を考える市民連絡会 代表幹事 安藤加代子(札幌市北区あいの里1条6丁目3-1-1002 TEL/FAX 011-778-6855)宛てに、文書にてご回答をいただきたくお願いいたします。

北海道脱ダムをめざす会構成団体

- ・(社)北海道自然保護協会 会長 佐藤謙
- ・十勝自然保護協会 共同代表 安藤御史・佐藤与志松・松田まゆみ
- ・北海道自然保護連合 代表 寺島一男
- ・富川北一丁目沙流川被害者の会 代表 中村正晴
- ・平取ダム建設問題協議会 代表 松井和男
- ・苫小牧の自然を守る会 代表 舘崎やよい
- ・ユウパニコザクラの会 代表 藤井純一
- ・イテキ・ウエンダム・シサムの会 代表 佐々木義治
- ・胆振日高高校退職教職員の会 代表 高橋 守
- ・自然林再生ネットワーク 代表 前田菜穂子
- ・下川自然を考える会 会長 千葉永二
- ・サンルダム建設を考える集い 代表 渋谷静男
- ・環境ネットワーク旭川地球村 代表 山城えり子
- ・大雪と石狩の自然を守る会 代表 寺島一男
- ・旭川・森と川ネット21 代表 平田一三
- ・当別ダム周辺の環境を考える市民連絡会 代表幹事 安藤加代子